

1. 授業の概要(ねらい)

教育は、社会のありようどのように結びついているのか。当科目では、下記の3つのテーマを設けてこの問いに取り組んでいく。

- ①教育が人々を選抜し、社会の中に位置付けていくという働き
- ②個人が社会のルールや期待を受け取り、社会的存在へとかわっていくプロセス
- ③高等教育と社会の関わり

履修者には 授業や文献の内容をもとに、自らあれこれ思索するという作業に積極的に取り組むよう求める。当科目はそのような思索を通して、「自明」「当たり前」とみなされがちな教育や学校という制度・営みを、クリティカルにとらえる洞察力を養うことを目的とする。

ただし、当科目で提示する知識や考え方は、いずれも「すぐ役立つ」「実践的」等とは評し難いものである。履修するかどうかは、その点も踏まえて検討してほしい。

授業は講義を中心に構成するが、履修者数に応じて、適宜ディスカッションやグループワークを取り入れる。

2. 授業の到達目標

- ①教育の選抜・配分機能に関する的確な知識を示すこと、または基礎的事項の概略を記述することができる。
- ②社会化に関する的確な知識を示すこと、または基礎的事項の概略を記述することができる。
- ③大学教育の現代的な課題について、的確な知識を示すこと、または概略や意見を記述することができる。

3. 成績評価の方法および基準

試験 70%

平常点 30%

※平常点は授業内課題、授業外課題への取り組みに基づき計算する。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は指定しない。

5. 準備学修の内容

文献を読んだ上ででの参加や、文献の内容に対するコメントの作成・提出等を求めることがある。

6. その他履修上の注意事項

授業参加者がともに「話し、聴き、読み、書く」ことを重視する。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 近代学校の成立 |
| 【第3回】 | 選抜・配分と学校教育(1)学歴主義の日本的構造 |
| 【第4回】 | 選抜・配分と学校教育(2)戦後日本と学歴主義 |
| 【第5回】 | 現代日本の教育意識 |
| 【第6回】 | 社会化とアイデンティティ |
| 【第7回】 | 家族と社会化 |
| 【第8回】 | 中間の振り返り |
| 【第9回】 | ジェンダー(1)ジェンダーとは |
| 【第10回】 | ジェンダー(2)学校文化とジェンダー |
| 【第11回】 | 逸脱 |
| 【第12回】 | 日本の高等教育制度 |
| 【第13回】 | 大学教育のレリバンスと効用 |
| 【第14回】 | 社会の変容と大学の変容 |
| 【第15回】 | 全体の振り返りと試験 |